

## 第 26 回議会報告会 報告書

地 域 名	広谷地域		
年 月 日	令和 6 年 4 月 25 日 (木)	会 場 名	広谷ふれあいセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 03 分
参 加 数	男性 12 人	女性 1 人	合計 13 人
班 長	足立 隆啓	司 会 者	足立 隆啓
報 告 者	全員	書 記	藤原 芳巳
班 員 名	足立 隆啓、藤原 芳巳、瀬原 敬樹、田村 和也		
	市 民	対 応	
報告に対する質疑	<p>① 下水サーベイランスの正確性はどのくらいあるのか。濃度が高くなっても行動制限が行われたことはないが、何のためにしているのか。</p> <p>② 八鹿病院にPET-CTが導入されるが、市民は検診等で利用できるのか。</p> <p>③ 議会放送がサブチャンネルに移行したがなぜか。録画がやりにくい。メリットはあるのか。</p>	<p>① 正確性があるとは言い切れない。コロナが2類から5類に移行したことで市民の関心は低い、医療機関等は指標にしている。市は、市民の健康と命を守る指標になるものとして取り組んでいる。</p> <p>② 認知症、がんを早期発見し、その治療に役立てるもので、令和6年度中には市民が利用できる見込みである。</p> <p>③ 議会モニター等の市民から議会放送が長すぎるなどの意見があり、議会開催日の放送を午前と午後で分け、2日間に分けて放送することにした。放送日が増えるため、議会放送をサブチャンネルに移行して時間を取りやすくした。</p>	
意見交換会での質疑	<p>① 吉本のお笑い総選挙をスマートフォンでやろうとしたが、マイナンバーカードの読み取りができなかった。保険証としても使えるようになったが、なかなか活用できない。デジタル施策が増えているが、高齢者が使いこなせるのか。</p>	<p>① スマートフォンの講習会が開催されており、今後はデジタル推進員の配置を考えている。</p> <p style="padding-left: 2em;">デジタル施策については、職員がもっと出向いて指導していくべきと考える。</p>	

	市 民	対 応
意見交換会での質疑	<p>② Y Bファブなどの公共施設にはWi-Fi環境の整備がされているが、メールアドレスを持っていない人もいるので、アドレスを入力しなくても利用できるようにしてほしい。</p> <p>③ 市のマイクロバスが使えなくなったのはどうしてか。</p> <p>④ 養父市の自主防災組織の運営はどのようになっているのか。要援護者の登録は進んでいるが、誰が援護するかは作られていない。その体制づくりを考えて欲しい。</p> <p>⑤ 誰でも保育園に行けるものと思っていたが、「こども誰でも通園制度」とはどういうものか。</p>	<p>② 仕組みはあると思うので研究する。</p> <p>③ 国土交通省の通達により、公的な使用以外では使用ができなくなった。</p> <p>④ ご意見を当局に伝える。</p> <p>⑤ 国の試行的事業で、これまでは家に保護者等、子どもを育児できる人がいれば預けられなかったが、月 10 時間を上限として誰でも通園できるようになった。</p>
その他（提言など）	<p>① 以前から小学校のトイレの洋式化を要望している。体育館のトイレは洋式化されたが、校舎のトイレは和式のままである。早く進めて欲しい。</p> <p>② 議員定数が長い間そのままである。議会の中で話をするより、市民意見を反映して決めるほうがいいのではないかと。議員報酬は安いので、定数を削減し、その分報酬を増額したらどうか。</p>	<p>① ご意見としてお聞きする。</p> <p>② 定数と報酬については4年に1度見直すこととしており、次期改選後は、定数は16人、報酬は31万円と、現状を維持することとしている。</p>
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和6年5月15日

報告者 2班 班長 足立 隆啓